

# 2019年度 地区別父母懇談会 開催

二松学舎大学  
父母会報

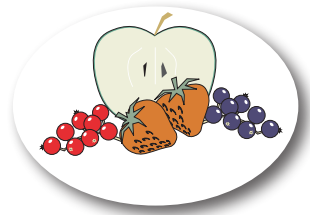


平成5年5月10日創刊  
令和元年10月20日発行  
(第106号)

二松学舎大学父母会  
(本部・事務局)

東京都千代田区三番町6番地16  
二松学舎大学学生支援課

題字は  
故 観山貞広常吉先生書



二〇一九年度二松学舎大学地区別父母懇談会が、六月十五日(土)の金沢市・宮崎市を始めとし、七月二十八日(日)まで全国十都市(開催日時順に金沢市・宮崎市・大阪市・福島市・山形市・静岡市・甲府市・岡山市・宇都宮市・千代田区「九段キャンパス」)で開催されました。

地区別父母懇談会は、父母会の主要事業の一つで、今年で二十六回を数えます。大学から学長・副学長・学務局長・学部長・両学部の教員及び職員が分担して各地に赴き、父母との懇談を行いました。

懇談会の内容は大学の現況、本学の教育方針、学習状況・学生生活・就職状況等についての説明、個別相談でした。父母の関心が高かったのは、「大学の現況報告」と「学生の学習状況について」でした。

九段キャンパスでは、キャリアセンターによる「現在の就職環境と保護者支援のあり方について」の講演、就職課程センターの教員による就職に関する講演会が行われ、好評を博しました。キャリアセンターによる講演の内容については、八頁に掲載していますので、ご一読ください。

六月十五日(土)の石川県・宮崎県を皮切りに全国各地で父母懇談会が開催され、父母と大学教職員の交流が行われました。その内容を寄稿していただきました。

# 石川会場

田中 理恵

石川地区父母懇談会は六月十五日

(土) ホテル金沢にて、大学より教  
学事務部教務課課長補佐 小沢洋之  
様、同学生支援課課長補佐 山口貴  
子様之二名、二松学舎大学同窓会会  
長 廣田克巳様にお越しいただき開  
催されました。地方出身の学生の親  
として大学の父母懇談会とはどうい  
う規模でどんな内容なのかという緊  
張感もありましたが、石川、富山か  
ら七名の父母が出席し、和やかな雰  
囲気のもと進められました。

まず、資料に基づき大学の現状、  
専攻ごとの進級・卒業に必要な要件、  
時間割や成績表、ゼミナールの先生  
からのコメント書面などいただき、  
子供の生活リズムや学習状況、ゼミ  
ナールでの学生生活の様子や抱いて  
いる悩みなど細かく記載いただき、  
離れていてわからない子供の様子を  
知ることができました。行き届いた  
細やかな配慮や指導をしていただい  
ていることを実感し二松学舎大学に

入学出来てよかったですと思いました。

意見交換では、自己紹介を兼ねて、  
本学を選んだ理由や子供の近況の様  
子、離れて暮らす子供への想い、ま  
た子供たちの頑張っている様子やそ  
れに対するあたたかい大学側の対応  
を感じる事が出来ました。

最後に大学、父兄の方々と直接お  
話し出来るこのような機会を頂きま  
したこと、参加し有意義な時間  
を過ごせたことに感謝いたします。  
誠にありがとうございました。



# 宮崎会場

更原 正哉

六月十五日(土)に開催された地  
区別父母懇談会に参加し有意義なお  
話を聴くことができました。

教学事務部西園部長、同学生支援  
課勇係長には遠路お出かけ頂き、有  
難うございました。父母の参加は宮  
崎から私共両親ともう一組のご両  
親、お父様が一名。福岡からのお母  
様が一名の計六名でございました。

「大学の現況について」の説明で学  
内に飲料水等の災害備蓄があり、建  
築物の耐震性等確認できました。実  
家から距離が遠いので緊急事態の不  
安が軽減しました。また「保護者ポ  
ータル」の紹介があり、出欠情報・  
学内連絡を確認し、子供の監視でな  
く、親子で協力して学生生活を頑張  
るとの思いで活用するのがよいと感  
じました。百円朝食を利用されて喜  
ばれているとお話を聴き、地方の  
保護者としてはサービスの拡充を  
図って頂きたいと思いました。

意見交換会では、学生から学校へ  
要望があれば聴取頂けることので  
したが、普段親子の会話は寮生活や



一人暮らし・バイトの話題が中心で  
学校の事ほどの家庭でも少ないよう  
でした。父母からは引越し等の生活  
支援と特に就職支援の現状を質問、  
その対策として、キャリアセンター  
や二松学舎サービスの説明を聴いて  
心強く想いました。母校の動向とは  
卒業後も気になるもの、卒業生にも  
誇らしい今後のご発展を祈念いたし  
ます。今回の父母懇談会開催有難う  
ございました。

# 大阪会場

中谷 美子

六月二十二日地区別父母懇談会大阪会場に参加しました。

教学事務部の小西副部长様と教務課の五十嵐様のあたたかいお人柄のお蔭で、初めから打ち解けやすい雰囲気です。

娘の履修科目、成績表とゼミの先生から授業での様子のコメントをいただいで、現状を把握することができました。

大阪から出て一人暮らしをしながらの大学生活でしたので、本人から電話で話は聞いてはいましたが、どうしても気がかりが取れないのが親心です。

こうして大学の先生から直接お話を聞けますと、客観性があり安心しました。Uターン就職のことも質問できて、丁寧に回答いただき大変参考になりました。

「もし、何か気になることがあれば、いつでもご連絡ください。」とおっしゃっていただき、それが立場上的お言葉ではなく、心から親身になっての意が伝わってきて、個別に対応

していただけの大学の体制を本当に有難く感じました。

お忙しい中、たくさん準備していただき遠方までお越しくださって、ありがとうございます。地方から入学した学生の父母にとっては、大学は遠くて繋がりが感じにくいイメージでしたが、今では頼りにできる、いつでも声を聴いてもらえる存在になりました。参加してよかったです。地区別父母懇談会を開催いただき心より感謝いたします。



# 福島会場

松浦 美江

六月二十三日(日)福島会場の地区別父母懇談会は、福島市のホテル辰巳屋にて開催されました。

大学から学長をはじめ四名の方々にお越し頂き、九名の保護者が出席し、計十三名による懇談会となりました。

資料に基づき、大学の現況についての説明がありました。大学についてより深く知ることができ、百四十年以上の建学の精神を今でも大切に守っていることなどに共感が持て、歴史ある大学で実りある四年間を過ごしてほしいと思いました。また、十分に耐震基準を満たし、非常食などを備蓄し、安全に学校生活を送れるよう対策していることも安心しました。

その後、学習状況、学校生活についての説明がありました。配布資料の封筒には、娘の時間割や成績表、基礎ゼミナールの先生からのプリントが入っていました。真面目に大学生活を送っていることや、仲の良いクラスで楽しく過ごしていることなどが分かり、嬉しく思いました。



意見交換会では、災害時の対応の仕方、就職活動、単位取得、学食、地方での知名度についてなど様々な質問があり、一つひとつ丁寧にお答え頂きました。一人暮らしをしながら、同じ大学に通う保護者として共感できる部分が多くありました。

最後に、大変お忙しい中、お越し頂き心より感謝致しますと共に、今後とも大学及び父母会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

# 山形会場

難波 賢一

六月二十九日(土) 山形会場の地区別父母懇談会は山形グランドホテルで開催されました。大学から教務事務部の西園部長と学生支援課の山口課長補佐が出席され、秋田・山形・宮城から四家族五名の保護者が参加されました。

懇談会は次第に沿って、①大学の現況②学生の学習状況・学生生活について③意見交換④個別相談の順に進められました。①と②は大学側が用意した『地区別父母懇談会説明資料』に基づいて丁寧かつ詳細な説明がなされました。建学の精神、関東出身学生が圧倒的なこと、GPA制度、九段キャンパスの耐震性、保護者ポータルなどが印象に残りました。資料の中で『学生個別確認票』が、小生にとつては最も関心を引きました。これを見て二松学舎に入學したばかりの子供が東京で真面目にやっていることや、同級生とのコミュニケーションもうまく取れていることが分かり、安心致しました。親身になってご指導下さっている指導教員



をはじめとする大学側に深く感謝申し上げます。その後昼食を挟んで意見交換・個別相談と和やかな雰囲気の中で会は終わりました。

小生は父母会に出席して二松学舎の持つ熱的な雰囲気に触れた気がして、温かな気持ちで子供に思いを馳せながら会場を後にしました。父母会・大学の皆様、ご苦勞様でした。

# 静岡会場

長坂 和幸

六月三十日(日) 静岡地区の懇談会がセンチュリー静岡にて開催されました。大学からは、中山副学長・瀧田学務局長・小西教務事務部副部長・中原教務事務部副部長・馬淵学生支援課長にお越し頂きました。

懇談会では、説明資料に基づき文学部・国際政治経済学部と学部ごとに学習状況・学生生活についてきめ細かにお話頂きました。また個人別の成績・ゼミの出席状況や学習状況が配布され子供の現状を詳しく知る事が出来ました。

その後の意見交換では、就職活動や部活動と授業との両立などについて先生方よりお答え頂きました。

先生方のお話を聞き、学生一人一人にとつても丁寧に指導されている事を実感しました。また、大学生生活での悩み事にはいろいろな窓口の活用を知りました。学生相談室やゼミの先生、就職の事はキャリアセンターなど一人で悩まず誰かに聞く事が大事だと早速子供にも伝えました。

地区別父母懇談会に出席し、離れ



て暮らす子供の大学生活を詳しく知る事が出来ました。このような貴重な時間を頂き大学教職員の皆様に感謝します。地区別父母懇談会の参加、是非お勧めします。

# 岡山会場

船橋 智子

岡山会場の地区懇談会は、七月七日(土)メルパルク岡山にて開催されました。大学からは、教学事務部 副部長・教務課長 小西様、教学事務部 副部長・入試課長 中原様、教務課 中川様の三名がご出席くださいました。保護者は三組四名が参加し、会話も弾み楽しい会となりました。

まず、資料にそって大学の理念や目標、大学の現状、学習状況などゆつくり丁寧に説明をして頂きました。また、「時間割」「成績通知書」「出欠状況一覧」などの資料も用意して下さっていました。中でも一番うれしかったのは「学生個別確認票」でした。指導して下さいている先生からのコメントが書かれていました。県外の大学へ行かせたのだから、何も分らないものと思っていました。が、大学との距離がとても近いものを感じられました。

次に、就職率のお話や就職活動にあたっては、何度も面談を重ね、相談に乗っていただけ、アドバイスも



いただけるという、本当にうれしく、心強く思いました。

意見交換の場では、親御さんの想い子供さんの頑張っている話など、共感できる事ばかりでした。

今回はじめて懇談会に参加しましたが、子供達への熱心な想いを感じることができ、本当にうれしく思いました。岡山まで来て下さりありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。

# 山梨会場

清水 マキ

山梨の地区別懇談会は、去る七月六日(土)に甲府市のホテル談露館において、大学より学生支援課長の馬淵裕之様と教務課係長の間宮康之様にお越しいただき、父母三名の参加のもと開催されました。

まず大学理念をはじめとし、現在の私立大学における課題や展望などをご説明いただきました。続いて学生の学習状況やGPAにつきまして、個人資料もご用意いただいた上で、具体的にお話いただき、子供の大学生活や学修状況を把握することができました。

その後の意見交換会におきましては、就職活動や就職状況の質問が多く聞かれ、親世代が経験した就職活動とは方法も時代背景も異なり、皆さん不安に思っている事がわかりました。しかしその一つ一つに丁寧に回答いただき、学生の個性や特性に引き合った細やかな指導や、歴史ある大学が築いてきた企業との信頼関係を実感する事ができ、不安が軽減されました。



また父母同士においても、大学生活や就職について、親としての不安な思いを共有し合い、上のお子様への経験談も含めたアドバイスが、とても参考になりました。

今回出席させていただき、親にとっても大学が身近に感じられ、入学できた事をあらためて良かったと思える一日となりました。

この様な貴重な機会をいただけました事を心より感謝申し上げます。

# 栃木会場

## 大森 真里子

七月十三日(土) 栃木地区の懇談会がチサンホテル宇都宮にて開催され、大学からは福島副学長はじめ、押野教授他計六名もの方々にお越しいただきました。保護者側は、十八組二十九名の参加で盛況でした。

大学の今後について、建学の精神のもと、グローバル時代を見据え、「N<sup>o</sup>.2030プラン」実現に向けて『Student First』で人材育成に取り組んでいかれる旨、たのしく拝聴しました。

保護者からは「LiveCampus 保護者ポータル」が、子どもの学校生活を知る上で大変役立つというご意見が複数ありました。

思えば今から三年前、初めて宇都宮での懇談会に参加した折、あるお母様がこうお話ししてくださいました。

- ・ 四年生の息子さんが、この期になつて「単位不足のため」来春の卒業が見込めないことが判明した。

- ・ 学業については本人任せで、親御さんは一切ノータッチだった



ことが大変悔やまれる。  
 ・ 他の方がこのような事態に陥ることのないよう、恥を忍んでお伝えしたい……と。

今年度始動の保護者ポータルは、まさに先のお母様の貴重なご発言を教訓として生かせる有用なシステムです。せつかくのツールを活用なすつてはいかがでしょうか。  
 会の運営に感謝申し上げますと共に、息子の無事卒業を願っております。ありがとうございました。

# 東京会場

## 小柴 有佳

東京会場の地区別父母懇談会は七月二十一日(日) 十四時より、九段キャンパス中州記念講堂において、数多くの父母が参加し開催されました。

大学側からはご多忙の中、江藤学長、福島副学長、牧角文学部長、中国国際政治経済学部部長ほか、保護者面談にも多くの指導教授の方々にお越し頂きました。

父母会長挨拶に続き、江藤学長より挨拶ならびに大学の現況を含めてのお話がありました。その後、各学部長より学部、学科の現況を報告して頂きました。

次に、各々用意して頂いた子ども「時間割」と「成績通知書」についての説明がありました。

「履修が少ないのではないか?」と感じていたところ、すかさず、「一年間に履修できる単位が決まっております、詰め込むような単位取得はできない。」と教えて下さったので納得いたしました。娘は「好きな文学を学べるのが楽しい。」と話しており、



一年次より二年次の方が成績が上がりました。二松学舎大学の授業のすばらしさを実感しております。

その後、場所を移してマイナビ東京キャリアサポート課の大塚課長より「就職に関する講演会」と、教職課程センター若井田教授より「教職に関する講演会」が開催されました。最近の就職、教職の現状をよく理解することができました。

最後に、自分の子供の大学での学習状況等を知る事ができる大変貴重な機会です。ぜひ多くの父母の参加をお勧め致します。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 2019年度父母会地区別父母懇談会アンケート まとめ ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

1. アンケート回答者分類

分類	石川(7)	宮崎(6)	大阪(2)	福島(9)	山形(5)	静岡(7)	山梨(3)	岡山(4)	栃木(29)	東京7/21(93)	東京7/28(108)	合計(273)
1年生の父母	0	1	1	3	1	0	0	0	4	23	23	56
2年生の父母	2	2	0	2	1	1	0	2	3	11	15	39
3年生の父母	2	1	1	1	0	1	1	0	5	14	20	46
4年生の父母	1	0	0	3	2	0	2	1	6	7	9	31
学年不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	4	2	9	4	2	3	3	18	55	67	172

( ) 内の数字は出席者数

2. 父母懇談会実施項目の「有意義」回答数

項目	石川	宮崎	大阪	福島	山形	静岡	山梨	岡山	栃木	東京7/21	東京7/28	合計(273)
大学の現況報告	3	3	1	7	3	2	2	2	8	40	42	113
学生生活について	1	1	0	5	4	0	1	1	4	19	13	49
学生の学習状況について	3	1	2	3	4	0	1	2	6	30	35	87
就職状況について	1	2	2	1	2	2	3	3	3	13	32	64
個別相談について	0	0	0	0	1	0	0	0	5	8	4	18
その他	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	4	8

3. 父母会活動活性化要望項目

項目	石川	宮崎	大阪	福島	山形	静岡	山梨	岡山	栃木	東京7/21	東京7/28	合計(273)
地区別父母懇談会の実施	3	1	2	4	3	1	1	3	6	17	27	68
教員の海外研修助成	0	0	0	2	2	0	0	1	2	3	1	11
海外研修学生引率者助成	0	0	0	3	2	1	0	0	1	3	1	11
就職指導に対する助成	3	4	0	7	3	1	2	0	10	23	26	79
新入生教育に対する助成	0	1	0	1	1	0	0	1	2	7	5	18
課外活動団体への助成・学生顕彰など	0	1	0	2	2	0	1	0	2	13	8	29
大学行事への助成	1	0	0	0	2	1	1	0	2	8	9	24
卒業パーティーの開催	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	2	6
卒業アルバムの贈呈	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5	3	9
奨学金の給付	0	1	0	3	2	0	1	2	7	13	13	42
父母会報の発行	1	0	0	1	2	0	1	0	2	6	6	19
留学生支援に関する助成	0	0	0	2	1	0	0	0	0	3	3	9
弔慰金・災害見舞金の支給	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4	2	7

●就職活動とオリンピック

来年、東京オリンピックが開催されることは、皆さんご存じのことと思います。

そこで、公共交通機関などはオリンピックに合わせたダイヤになったり、大学も大幅に学年暦を変更して調整する予定です。

実は、関係なさそうな就職活動についても影響が予想されます。

現1年生、2年生については、夏休み期間中に例年開催している学内の講座が影響を受けます。そこで、春休みに前倒しでの開講や、夏休み分を授業期間中に振り分ける調整などを進めています。

東京オリンピックは、自国でオリンピックが開催されるという、希少な機会です。そのような機会を、大

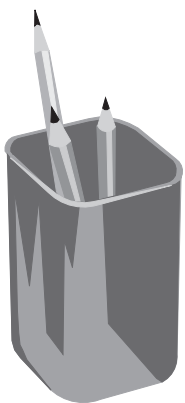
就職活動そのものに影響してくる現3年生については、企業側がオリンピックまでに採用活動を完了させたい思惑から、3年次3月広報活動開始(説明会の開催や求人票の公開、応募書類の受付)を待たずして、「インターンシップ」の名目で説明会を開催したり、面接と言わず面談と称して、実際には選考を行なったりすることが見込まれます。企業の速い動き出しに対して、学生側も早いアクションが必要になります。

ア  
ー  
56  
リ  
タ  
リ  
キ  
セ  
だ

したら、ぜひご相談いただければと思います。

キャリアセンターは、たんに就職をあつせんすることが業務ではなく、包括的にキャリア支援を行なう部署です。自身のキャリア形成の上で迷ったり悩んだり

キャリアセンターもその学生をしっかり支援できるように、例年よりも支援講座やイベントを前倒しで実施および開催します。



# 首都圏地区の父母会で、『就職に関する講演会』

## を実施いたしました！

7月21日『地区別父母懇談会（東京・神奈川）』、7月28日『地区別父母懇談会（千葉・埼玉）』（いずれも九段校舎で実施）に於いて、『就職に関する講演会』を実施しました。

演題：現在の就職環境と保護者支援のあり方について

講師：株式会社マイナビ 就職情報事業本部 企画広報統括本部 東日本統括部 関東ブロック東京キャリアサポート3課 課長 大塚祐宜氏

- 講演の内容としては、
- ①現在の就職環境について
  - ②就活スケジュールについて
  - ③ご家族による支援のあり方についての3部構成で話しがされました。

①現在の就職環境については、マスコミによる報道では、学生側の売り手市場であるとか採用難とか騒がれております。それだけを聞くと、就職は安易にできるものなのではと錯覚しがちです。

しかし実際は、採用は『数』ではなく『質』にシフトしており、企業は必ずその求人数を採用するつもりではないので、いわゆる求人倍率も現実的にはもっと下がるものになり

ます。また内容を精査すると、従業員数1000人以上の大企業の求人倍率は0.42倍と、大企業志向の学生の6割は希望がかなわないことになり、これは業界・業種でも倍率は違っており、人気企業・人気業界で倍率は雲泥の差になっています。全体の求人倍率も昨年の1.88倍から今年は1.83倍と下がっており、就職環境は今後、厳しい局面に入っていくものと思われる。

このように、企業の求人状況と学生の希望とのミスマッチが生じています。求人絶対数は変えられないので、学生側の意識を変える必要があります。具体的には、なぜ大企業でなくてはいけないのか、なぜその業界なのかを見つめなおし、中堅中小企業でも優良企業は多数存在すること、BOB企業など学生の目に留まりにくい企業でも社会に影響力の高い企業も多いことなどを理解することです。逆にこうして意識を変え

ることで、選択肢も増え、内定を得やすくすることも可能です。

②就活スケジュールについて、経団連が『採用活動に関する指針』を定めて3年次生3月に企業広報開始、4年次生6月に選考開始、10月に内定というスケジュールを作っていました。経団連がそのルールを撤廃しました。政府主導でそのルールを引き継ぐことになりましたが、罰則規定などないため、ルールは形がい化しています。また中堅中小企業は、大手企業と同時期に採用活動をしていたら人材を採用できないこともあり、時期を早めて採用活動をする現実があります。

そのため、企業広報も前倒して実施されます。学生側の心得としては、企業広報開始の時期が来たから企業研究するのはなく、早い段階からインターンシップなどを通して業界研究や企業理解を深めていくことが必要となります。そうやって職業観を早い段階から養っていくことと同時に、ヒューマンスキルを高め、いくことも重要で、学業に打ち込んで、ゼミやサークルなどチームでの取り組みに積極的に参加したり、立場や価値観が異なる人と関わったり、読書や旅行等を通じて見分を広めるなど、企業が求める人物像を体現していくことも行なってください。

③ご家族による支援のあり方として、いわゆる『ティーチング』（教える・覚えさせる・叱る）ではなく、『コーチング』（引き出す・考え

させる・褒める）をベースとしてください。具体的には、強み・特徴を褒めると自信につながるのと、とにかく褒める。多くの仕事を知れば選択肢が増えるので、働く・仕事の話を。安らげる場所を作って、規則正しい生活をする。就職活動はけっこうお金がかかるものでもあるので金銭的支援をする。親の価値観を押し付けず、自分で意思決定させる。落ちても責めず、よいサポートになる。などです。

講演会では熱心にメモをとったり、大きくうなずくご父母も見られました。

キャリアセンターとしても、ご家族の支援と双輪で学生をサポートしていければと思っております。高学年の就職活動時期に限らず、普段から進路・将来について話せる場作りができればと存じます。





# フレージャーバレー大学(カナダ) 短期海外語学研修に参加して

●国際政治経済学部 二年 村野 太一

## 海外語学研修の参加を決めた理由

夏休みに入る前、両親から「短期の語学研修に参加してみてもどうか」と提案され、自分でも「長い休みの間に何か面白いことをしてみたい」「夏休みを有効に活用したい」と考え、研修への参加を決めました。

## 研修先と宿泊先の雰囲気

夏のカナダはとても涼しく、勉強や様々なアクティビティをするのにとても適した環境です。大学では現地のボランティア学生がとても親切に面倒を見てくれるため、安心して過ごすことができました。大学のキャンパスではウサギやリスを見かけることができるほど自然を身近に感じることができました。

また、ホストファミリーとは様々な話をしたり、バスケットボールに誘われたりと、お客様ではなく、一人の家族として迎え入れられたと実感しました。

## 学習の内容／今回の研修で得たこと

カナダの歴史やカナダで多く見かけることができるコーヒーチェーン



明るく親切に接してくれた現地のボランティア学生



現地の担当者カラさん(左)とボランティア学生リーダーのサバナさん(右)

の Tim Hortons に関する歴史など身近なものをテーマにした講義形式の授業など英語を「学ぶ」だけでなくバンクーバーへの小旅行、現地のカナダ人ボランティアとのゲームやキャンパスツアーなど英語を「使う」場面が多くありました。英語で確実に相手に伝える力はついたと思います。この研修に参加して自分自身の語彙力のなさを実感しましたので、これからの英語の勉強についての意識が高まりました。

# 浙江工商大学(中国) 短期海外語学研修に参加して

●文学部 三年 中臺 真映

## 本研修に参加を決めた理由

大学生になってから中国語の勉強をはじめましたが、興味ある分野であり、現地での中国語授業を受けてみたいと思い参加しました。また、これまで学んできた自分の中国語のスキルを試してみたいと思ったことと、さらにスキルを上げたいと思ったことも参加を決めた理由です。

## 研修先の雰囲気

広大で自然豊かなキャンパスでした。学生と先生の距離が近く、留学生の私たちも現地の先生とすぐに交流することができました。現地の学生は日本語を話せる学生が多く、勉強のことはもちろん、留学中の生活のサポートまで親切にしてくれました。

## 学習の内容

授業は、基本的に中国語と英語で進められました。文法事項などの総合的な科目、ヒアリングなどの授業がありました。毎回の授業で聞き取りの小テストを行う授業や、個人的に中国語で質問を投げかけてくれる先生など、約2週間で自分の語学力向上にとても力になる授業だったと思います。最初は聞き取れないことが多く落ち込みましたが、授業を受

けるたびに拾える単語などが多くなつてきて達成感がありました。

## 今回の研修で得たもの

今回の研修に参加して、中国語学習に対するモチベーションがすごく上がりました。中国人の友人は2年日本語を勉強しただけで、日常会話ほとんど完璧で、私たちの日本語を理解していて、その上日本語で会話を普通にしていました。私は2年中国語を勉強しましたが、彼らのような力はまだありません。中国と日本での勉強の質の違いはもちろんですが、勉強に対する意識の違いを感じました。この気づきは日本にいただけでは気づけなかったことだと思うので、今回短期留学に行くことができ、今良かったです。学外活動も多く、語学以外の面でも多くの刺激を受けることができました。



ユネスコの世界文化遺産にも登録されている杭州西湖(こうしゅうさいこ)の畔にて



授業中の風景

## 2020年4月から高等教育の修学支援新制度が始まります。

二松学舎大学は、高等教育の修学支援新制度の対象機関となりました。

これにより、2020年から授業料等の減免と給付型奨学金による支援が受けられるようになります。

すでに在籍している学生も対象となります。

授業料の減免及び奨学金給付対象者は、住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯であること等の一定の条件があります。詳しくは、文部科学省の特設サイト「高等教育の修学支援新制度」をご確認ください。

### ポイント

#### ・既にJASSOの給付型奨学金を受けている方

原則として、新制度に切り替えることができます。

#### ・貸与型奨学金（無利子・有利子）を借りている方

新制度なら給付型奨学金を受けられる可能性があります。

#### ・今まで奨学金や授業料等の減免を受けていなかった方

支援の内容が大幅に充実するので確認してみてください。

※いずれの場合も、条件により対象とならない場合があります。

※現4年生は申請ができません（対象外となります）。

修学支援の対象となるかについては、日本学生支援機構（JASSO）のホームページの「進学資金シミュレーター」において、おおよその確認をすることができます。

（試算によるものであるため、実際に申し込んだ場合の結果とは必ずしも一致しません）。

また、この制度は、「学ぶ意欲のある学生を支援すること」が目的であるため、毎年成績確認を行うことが条件となります。確認の結果、学業不振と判定された場合、支援（減免及び給付）の打ち切り、奨学金の返還等が必要となることもあります。

11月より正式に申込・受付が始まります。（マイナンバーが必要となります）

ご不明な点は、学生支援課までご相談ください。

相談室で出会う学生さんの中には、入学までの経緯に何らかの事情があった人がいます。例えば不登校期間を経て学校生活に復帰した人や、何年間か引きこもりを経験した人もいます。人とは違う時間を過ごしてきたことに引け目を感じていたり、大学生活に馴染むために人よりも多くの気力と体力を必要としたりなど、独自の苦勞があることも感じますが、彼らの話のなかに特別に培われてきた視点や思想を感じることもしばしばです。集団生活から得られるものとは異なるものが、一人の時間を過ごす中で育まれ、彼らの中に蓄積されてきたのだからと感ぜられます。そしてその熟成された思想や感覚を言葉にし、他者からフィードバックをもらう段階が今訪れているのではないかと、相談を聴きながら思うことがあります。

ところで、先日ヤフーニュースで特集されていた大泉洋さんと米津玄師さんの対談が印象的でした。創作活動に関する話題でお二人は「何もしない時間が無駄じゃないんです」

## 学生相談室

だより 106

カウンセラー 森岡さやか

「結局1週間でつくったとしても、その前に何カ月間かうだうだして時間がないとできない」と意気投合していたのです。何もしない時間に見出すことは本人ですら難しく、周りで見ている人からはなおのことじれったいものです。けれども活動的で生産的な時間だけが人生において意味を持つのではなく、止まっている時間と動いている時間は両輪のようにどちらも不可欠なものと気付かされます。

カウンセラーの役割として重要なのはまず、来談者の自己治癒力が最大限発揮されるようにすることであり、本人の成長を妨げているものを取り除くことだと言われます。

その際に必要な刺激が何であるかを見極めることは難儀ですが、背中を押すばかりでは片手落ちであることは確かです。見えやすい成果だけに注目せず、本人にとつての意味と本人に合ったペースを考えながら相談を進めていきたいと思っています。

お金の心配なく学び続けたい 学生のみなさんへ



NEW

2020年4月から新制度がスタート!  
[対象] 住民税非課税世帯・準ずる世帯の学生

授業料・入学金の  
免除/減額



給付型奨学金の  
支給

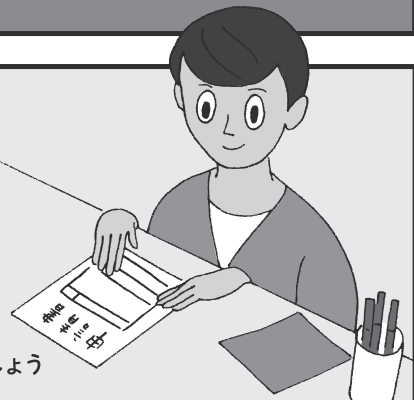
申請期間

2019年11月1日～30日

⚠ 学校ごとに締切日が異なるので確認を。

[対象となる学校] 大学・短期大学・高等専門学校(4年・5年)・専門学校

特設サイトで自分が対象になりそうか確認して、学校から申込書類をもらいましょう



# 父母会成長支援型(資格・能力取得育英)奨学生募集

父母会では、平成二十六年より公務員試験等合格者や父母会が指定した資格取得者を対象とした奨学金制度を設け、勉学環境支援を行っています。今年度も父母会成長支援型(資格・能力取得育英)奨学生を募集しますので、左記の試験に合格した学生のご父母の皆様は、お子様にお声かけください。ご応募お待ちしております。応募書類は、学生支援課で十月二十一日から配布します。

**応募資格**：本学に在籍する学部生で、左記のいずれかに該当するもの

資格の取得期間：二〇一九年十一月十六日～二〇一九年十一月十四日に取得又は合格した

もの

応募期間：二〇一九年十一月五日～十一月十五日

(但し、四年次生は、二〇二〇年三月まで申請を受け付けます。)

詳細は、父母会ホームページをご覧ください。

## 対象となる試験及び資格

公務員試験	公立教員採用試験(名簿登載)、国家公務員総合職採用試験、国家公務員一般職・専門職採用試験(大卒程度) ※専門職は国税専門官、労働基準監督官、外務省専門職員、航空管制官、皇宮護衛官(大卒程度)、法務省専門職員(人間科学)、財務専門官、食品衛生監視員、自衛隊幹部候補生の採用をいづ。
国家資格	地方公務員「都道府県(大卒程度)」・「特別区(都・消防庁)」・「保安職(警察、自衛隊一般曹、地方の消防)」・「市役所等(大卒程度)」 弁護士、公認会計士試験、税理士試験、司法書士、不動産鑑定士試験、中小企業診断士、社会保険労務士、ファイナンシャル・プランニング技能検定(1級・2級)、宅地建物取引士、行政書士、基本情報技術者試験、総合旅行業務取扱管理者、国内旅行業務取扱管理者試験
公的資格等	日商簿記検定(1級・2級)、販売士(1級・2級)、秘書技能検定(1級)
語学検定	日本語検定(1級)、日本漢字能力検定(1級)、実用英語技能検定(1級・準1級)、TOEIC(870以上、600以上)、IELTS(7.0以上、6.0以上)、中国語検定(1級・準1級)、漢語水平考・HSK(6級)、韓国語能力試験(6級・5級)、ハングル能力検定試験(1級・2級)

## 編集後記

夏休みも終わり残暑も束の間、千葉市に台風が上陸。停電の長期化など被害は未だ収束せず被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

六〇七月にかけて実施しました地区別父母懇談会には多数のご参加を頂き深謝申し上げます。アンケートで頂きました貴重なご意見は全て会長を始め役員一同にて読み合わせ共有しましたことをご報告させて頂きます。

九月の役員会では本学の同窓会、松峯会の役員の皆様と懇談の場を持ちました。

社会での経験豊富なOG・OBの方々より同窓会としての学生への支援の在り方についてお話を頂きました。

世の中に目を向けますと東京五輪まであと一年。国内では観戦チケットや選考レースに関心が集まる一方で若者が中心となり地球温暖化抑止に向けて立ち上がる世界的な潮流が注目されています。

本学学生には世紀のイベントをまさにその本拠地で迎えることができる利点がありますが、見方によれば五輪開催による負債となり、既に危機的状況と報じられる温暖化問題についての理解も必要かと思えます。

学生には時勢に応じたバランス感覚を備えて欲しいと願う次第です。

さて父母会は今後も学生及父母の皆様、大学のため最善を尽くして参ります。変わらぬご支援・ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。